

議会運営委員会

令和8年2月17日（火曜日）

開会 午前11時45分

閉会 午後 0時18分

1. 社会福祉法人財政支援補助金の今後の取り進め方について

○出席委員（7名）

1番 伊藤 昇 君	2番 河野 文彦 君
3番 高橋 邦雄 君	5番 山田 誠 君
6番 野口 周治 君	8番 千葉 圭一 君
12番 東 隆一 君	

○欠席委員（0名）

○出席説明員

副 町 長	長 瀬 賢 一 君
総 務 課 長	濱 野 尚 史 君

○職務のため出席した者の職氏名

事 務 局 長	関 孝 憲 君
議 事 係 長 兼 庶 務 係 長	長 谷 川 拓 哉 君

◎開会・開議の宣告

○議長（木村俊広君） 私のほうから、まず全員協議会の中でこのまま当初予算のままいけるのかどうなのかという、そういう話にまでいっていますので、その辺をまずどうしたらいいのかということで皆さんのほうで協議していただきたいと思えますけれども、委員長を中心にしてこの会を進めたいと思えますけれども、よろしいですか。

◎社会福祉法人財政支援補助金の今後の取り進め方について

○委員長（山田 誠君） 今議長から話あったように、補正でやっていいか、悪いかということになるのだけれども、この経営統合の流れからいくと大体2月20日までに報告しろということになっている、2月20日まで。財務のシミュレーション、総合計画の策定、インパクトの検証というの。だから、3月というのは何なの。だから、その辺をもう少しきちっと分かるようにして……

（何事か言う者あり）

○委員長（山田 誠君） みんな違う、分からないのだから。

○総務課長（濱野尚史君） まず、今回のコンサルの支援業務についての業務完了日は3月16日で、その日に最終的な成果品が出てくるということで今回の委託業務を契約しています。そのスケジュールの過程で、2月20日に言ってしまういわゆる成果品、最終的な成果品をつくるための1発目の原稿を2月20日に出しますよということでスケジュールを組んでいます。本来でいけば、そこの中から16日までに直してほしいものとか数字のおかしいところとか、そういったところを精査して、3月16日の日にきちんとした成果品として納品されると。本来でいけばそれらを見てもらえるのが一番いいのですけれども、それだと予算委員会の日程の関係上3月議会が終わった後に納品されるので、それでは予算の審議のしようがないということもあったので、2月20日のいわゆるゲラができたときのものをもってご説明させていただきたい。その精度が今どれくらいかということについても、まだ1発目の原稿が来ていませんので、何をもって何%かというのは分からないのですけれども、例えば成果品が100だったとしたら、その精度が90%のもので納品される可能性もあります。ただ、短い期間ですけれども、なるべく数字の精査をして、100に近いものについて直せるところは直して、後日私たちの説明する場としての議会全員協議会の資料として提出したいというふうには考えています。ただ、納品が2月20日ですので、20日の日に出されたものを私たちのほうも中身を読み解いて、理解した上で数字のおかしい部分とかということを整理する時間がやはり私たちにも必要なもので、その資料がいつそういうふうにお渡しできるかということについては、可能な限りとしか今現状では言うことはできないのですけれども、さっき言った2月20日という、3月16日と2月20日というキーワード2つ出てきていたのですけれども、2月20日というのは3月16日の成果品を出すための1発目の原稿の提出期限が2月20日ということだったので、それをもって私たちのほう

でも直すところは極力直した上で提示しますので、議会の日程上それでどうしてもご審議していただくしかないというのが私たち町側の考えているところであります。

以上でございます。

○委員（河野文彦君） 今の説明を松田議員にできていればこんなことにならなかったのではないの。というのは、僕の聞き違いだったらごめんね。2月20日はあくまでも中間というか、仮というか、本当にあらった報告があつて、それを町側も精査するから、その2月20日のものを3月16日の最終完成版までいく前の状態でも町側の目通すのも間に合わないから、予算委員会の前にはもうこれ以上の情報提供はありませんというお話だったと思った。でも、今聞けば話全然違うから。さっきそういう意図で言っていたのではなかったの。

○総務課長（濱野尚史君） 同じ意図で言っていたのですけれども、ちょっと私の説明が悪かったのか、違うふうに受け取られているのであれば、一応今の流れとすればそういった流れでなっていますということであります。

○委員長（山田 誠君） そしたら、2月20日にゲラができてきたら、それすぐ配付できるの。それ確認したい。

○総務課長（濱野尚史君） 先ほどもちょっと話させてもらったのですけれども、2月20日に出されたものが今の現状で、さっき言ったとおり、3月16日の納品の精度が100だとしたときにどれくらいの精度のものが出来上がってくるかというのは、1発目のゲラですので、まだ分からないのです。だから、20日の日に来たものを何も私たちが精査せずにそのまま印刷をしてお渡しして、あまりそこまで大きくずれることはないと思うのですけれども、実際3月16日の成果品として見たものと全然違っていたら、何だ、これという話になる。それこそこんな誤った数字で予算審議させたのかということになってくるので、ある程度それがどこまで近づけるか今の段階では言えないですけれども、なるべく気づいている間違いとか、そういうところについては精査した上で出したいということになれば、2月20日の日の来たのをただ印刷してお渡しするわけにはいかないの、その中身を修正するのに、当然私たちで直せるところもあれば、直してもらったものを原稿を送り込んで、それをデータとして納品してもらわなければならないので、そういったやり取りする日数も考えると、20日には当然お出しすることはできないというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（木村俊広君） 日程もいろいろタイトになっているので、なかなか日程つくるのも大変なのだけれども、取りあえず間違いなくやれるのでないかなというふうに思うのは、3月2日、初日、ここである一定のものを精査したものを出示してもらって、条例改正終わった後にそれもろもろやってもらおうと。さくらの園の関係とかも全部そこで一括で統括監に来てもらってやってもらおうと。それが終わってから、もろもろ審議して、それ終わって、さらに予算委員会に入っていくという形しかないのかなと思うのだけれども、であれば20日にできたものをあらあらではあるけれども、そういう資料というのは支度できるものな

のかどうなのか、まずその辺。

○委員長（山田 誠君） 課長、20日に委託業者から出てきたよとなった場合に、26日までにはできない。中身の修正というのはそんなにないと思うのだ。それでないと業者のほうは町の言い分を何して聞いたかというのになるわけだ。だから、その辺今指示したようなものの中身を確認したっていいのでないの、業者に。入っているか、入っていないか。それでなかったら、できてからやったらってまるきりできない、そういうの。その辺を含めて、やっぱりいろいろ議員さん方の話聞いても、ないのに審議できるかということになっているわけだから、その部分の今の20日にゲラができてきた場合についてはせめて26日ぐらいまでに出して、町で若干修正できるもので、そして27日に全員協議会開けばいいでしょう。できない、それぐらい。頑張れ、それぐらい。

（何事か言う者あり）

○委員長（山田 誠君） その部分、後で見て、業者のほうと打合せしてやってもらわなければ困る。

○副町長（長瀬賢一君） 3月2日だと……

○委員長（山田 誠君） 2日議会だろう。

○議会事務局長（関 孝憲君） 議会です。終了後に設定しようって考えているのですけれども、27日であれば監査の月例入っているのです。

○委員長（山田 誠君） 監査、そんなのは後でもいい。

○総務課長（濱野尚史君） 町長も日程既にいろいろ入っているのです。3月2日であれば議会で終日押さえているので、例えば午前中に、多分初日は条例改正と補正予算だと思うのですけれども、それが午前中だったとしても午後からの審議ができるのですけれども、27日は自衛隊の入隊の激励会だとかいろいろ予定入っていて、27日はもう日にちずらすことはできないので。

○委員長（山田 誠君） そんなこと言っていたら何もできない。

○総務課長（濱野尚史君） ちなみに、私も防災交通課長でそっちで身内みたいな関係で行かなければいけないものですから、ちょっとなかなか対応が。

○議長（木村俊広君） 予算委員会もすぐやったら駄目だということになれば、予備日使って少し空けて、考える時間空けて、それから予算委員会入ってもらうとか、そういうやり方もあると思う。

○委員長（山田 誠君） そういうやり方でないと、見てすぐ午前中にやって、すぐすぐやれって、はい、はいってやれるのか。

○総務課長（濱野尚史君） 今の段階で3月の議会の恐らく日程は、3月2日に条例改正と、それから補正予算、3日が執行方針と各課長の予算説明、4日が一般質問ということで、予算委員会は5日からになります。その日程をずらしていただくということで可能なのであれば、町とすればやはり最短が3月2日になるのではないかというふうに、ちょっとやっぱりスケジュール的にいろいろ考えると3月2日でお願いしたいというところが

町側の見解であります。

以上でございます。

○議長（木村俊広君） 4日つくれば大丈夫だよ。だから、予算委員会、例えば9、10、11、12、4日間ある。

○総務課長（濱野尚史君） 予備日も入れて6日あります。

○議長（木村俊広君） 時間もらうとして、いろいろ精査して、議会側もいろいろ考えていかなければならないことがあるので、9日からやっていったとすれば、9、10、11、12、4日間あるので、通常の委員会からいけば3日で大体終わっているはずだから、1日多く見て何とかなるのかなというふうに。

○委員（東 隆一君） 16日に最終的なものが出てくるというわけですね。それが完全なもので出てくるのですけれども、今中間のものしか出てきていないです。ですから、それが出てきてからでも、だからこれは要するにこの予算を通すための今いろんな話をしていくわけです。ですから、それが出てきてからでもいいのではないのと。そうすると、いろんな部分で話ができ、きっちりした部分で、その部分、後になって出てきた、これおかしきよという部分で、私らももしも賛成だ、反対だという話になったときに、後になって出てきたときにそれどうやって私らが説明するのか、そんなの聞いていないのかとかなんとかという話になりかねないから、そこからでも遅くはないのではないかと私は思うのですけれども。

（「休憩してもらっていいですか」の声あり）

○委員長（山田 誠君） 暫時休憩します。

休憩 午後 0時00分

再開 午後 0時05分

○委員長（山田 誠君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

そしたら、今の3つの案件は、今回の2日からの部分にのせないで、16日に成果品が出てくるのだから、その後に追加で出したらいかがですか。

（「当初予算を追加でということですか」の声あり）

○委員長（山田 誠君） 追加で。間に合わないのなもの。

○委員（高橋邦雄君） 今総務課長からの説明もありましたし、予算書も議員さんに配られている状況なので、この予算計上はされているのですけれども、あくまでも対応策として人材と別として財政支援が四半期で支払う、これが第1期分だけ支払うというような予算の組替えて実際にできるのですか。

○総務課長（濱野尚史君） 予算のこういう出した後の修正ってやったことがないものですから、できるかどうかについては持ち帰って検討する必要があるので、ちょっと今の段階でそこについては明言は避けさせてもらいたいと思います。

以上でございます。

○委員長（山田 誠君） だから、高橋委員、その部分だけを、3つの部分を抜くのだ、予算を、今回の議案から。そして、16日の成果品出てきた段階で追加で出せばいい。

○委員（高橋邦雄君） これって補正予算で組むのですか、そうなる。

○総務課長（濱野尚史君） お答えいたします。

当初予算の議決が一応3月13日に予定されていますので、そこで仮に例えばこっちのほうで出した予算を修正案みたいな形で直したものでやったとして、その部分、仮に例えばシャリテの第1期分だけの予算とかついた状態で新年度の予算が議決されてしまうと、同じ新年度予算という議案が1つの中でその部分だけ切り分けてもう一つの新年度予算というふうな立てつけにはならないのではないかと私思っているの、それであれば例えば補正予算なんかでも農林水産業費までこの議案、その後がこの議案って1つの一般会計の補正予算をそうやって分けるのができないのと同じようにその部分だけを切り分けて、同じ議案として一般会計の当初予算というふうにはならないと思うので、立てつけ上はやはりその部分を落とした、あるいは一部変更した状態で予算を議決されたら、4月以降に令和8年度の補正予算という形で予算を出さざるを得ないのではないかなというふうに思いますけれども、これはあくまでも私の推測ですけれども、そうなると思います。

○委員（高橋邦雄君） でしたら、当初先ほど議長が提案した期限3月2日、予算委員会の最終、予備日を使って100に近い成果品で審議をしたほうがベストでないかと思うのですけれども、どうですか。

○委員長（山田 誠君） それでいいのであればいいけれども。

○委員（野口周治君） 20日に出てきたものを2日までかけて見直すと言っているわけではないと私は理解をしていて、可能な限りすぐに見て、本質的な問題のあるところ以外は、細かい文字のチェックとか、そういうことに血道を上げるのではなくて、おおむね間違いがないよねと。語句の例えば言葉の修正なんかはあるにしても、おおむねオーケーというのを数日以内には配れますよとか、そういう中だから、1週間程度はちゃんと見る時間がある前提の話ではないかと思うのですが、それとも2日だったら2日まで握り込んで、はいつて出すようなイメージですか。

○総務課長（濱野尚史君） お答えいたします。

一般的に議会全員協議会の資料は、開催日から6日前の日に議会のほうにお渡ししているということでこれまで慣例でやらせてもらっています。ただ、ちょっとやっぱり6日前となるとかなり、それこそ来た日に出さなければならないような、土日を除いたとするとそういうことになってしまうので、さすがにそこにはちょっと難しいのですけれども、可能であれば、あとほかの課の調整も必要になりますけれども、何とか26日くらいか、27日の午前中には出せればというふうにちょっと頑張りたいと思います。

○委員長（山田 誠君） だから、それまでにできないかってさっきから言っている。26日の日までやれば、2日でも構わないのだけれども、当日渡してすぐぱっとやれといった

って、それは無理な話なのだ。できない。だから、そんなに業者のほうもばかみたく修正する問題はないと思うのだ。あつたらさっき私言ったような格好で、その部分だけ差っ引いて追加で出せばいい話だ。それでなかったらできない。

○議長（木村俊広君） 27日までに出してもらって、2日にその説明をすると。

○委員長（山田 誠君） それは中見て、20日だから4日か5日あるわけだから、その中身見て、相当違うなというのなら別だけれども、若干の違いは何もいいと思うのだけれども、その辺を含めてやって、日程あくまでもやっていかないと間に合わない。

○委員（伊藤 昇君） さっきから成果品という話ばかりしているのですけれども、コンサルはコンサルなのです。議会の資料というのは、あくまでも町が出す資料なのです。それを確認して、今からでもいいのです。ゲラががんがん送ってもらってチェックして、そして成果品として、町の成果品として議会に上程をする、資料として。それは普通にできる話なのです。だから、さっきから委員長言っているとおり、26日でも28日でもできたらそれ出してほしいというのが皆さんの意見だと思うのです。だから、成果品だ、20日まで出さねばならない、それをどうのこうのという話ではなくて、あくまでも町が、担当課が、副町長がでもいい。それをこれが成果品だというふうに森町として出す、そういう考え方でいかないとらち明かない。

○総務課長（濱野尚史君） 私たちもちょっと成果品という言葉にとらわれ過ぎていて、今副議長のほうからそういうふうに言っていたので、あくまでもその出てきたものを参考として、町の3月2日の全員協議会の資料としたものとして出せるように鋭意努力して、26日に何とか間に合わせれるようにしたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

○委員（野口周治君） 今コンサルタントの報告書、成果品を町がチェックしたものについての話を中心になっていますが、それは一部であって、先日の特別委員会で質問が出、意見が出たものに対応するものが整うことがまず前提で、あえてしつこく言っておくと、この間出てきたものを議会はそれでもそのうち出てくるから期待して通してきたのは項目が並んでいるけれども、中身が具体的に見えないものが繰り返されています。それではもう駄目なところにきているぞと。具体的にどう改善するのだ、今すぐできることがあるではないか、それをやっていないのはなぜなのだ、進めるためには役所、振興局との協議も必要だが、それすらやっていないではないか、どうするのだと、こういう具体的に改善を進める話が調わないままで従来プラスの補助金をただ要求するようなところに座っていられては困るし、トータルの損益はこっちに人を移せばこちらのプラスはこちらのマイナスとして表れるにしても、全体の方向性を語っている以上はそこはのみ込みながらやるのが当然のはずなのです。そういう具体性を持った説明なり、資料がなければ今度は通らないよと。つまり幾ら日程を組んだって補助金そのものは通せない。つまりシャリテを見殺しにすることになりかねませんよ、それは町の対応一つですよという議論になっている。そこを押さえて検討してほしい。

○総務課長（濱野尚史君） お答えいたします。

あくまでも3月2日の議会全員協議会は、ただビズアップから出てきたコンサルの財政シミュレーションの解説をする場ではないと思っていますので、そこについてはそのシミュレーション結果を踏まえてどうするのか、前回の2月にやったときの調査特別委員会の中でもいろんな議員の皆さんから宿題とかも出されております。その中で一番やはり多かったのが成果として今年度何をやってきたかということについての具体的なものが見えてこなかったということについての指摘が多く出されていたのかなというふうにも思っています。それに対して町として明確にお答えできなかったことについては大変申し訳なかったのですけれども、そこについてもきちんとお答えできるような体制をつくっておきます。

ただ、振興局のこのところにつきましても、ちょっとそういうところの中身が見えていなかったということも有的なのですけれども、そういったところも何でそうだったのかということも含めてきちんとそこら辺を対応して、あくまでも単に出てきた財政シミュレーションの数字の説明だけで終わらなくて、それをもってどうしたいのか、これまでの成果として何があったのかということについてきちんと説明できる場にしたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（山田 誠君） それでは、今までの話まとめてみますと、一応業者のゲラが2月20日に来るということで、それで町のほうで受けたものを2月26日までに議員の皆さんのほうに配付すると、または27日に配付するというので、3月2日に説明会を行うということではいいですか。議長、いいかい。

○議長（木村俊広君） 2日にやるのだけれども、今までの経過からいくとまた統括監いなくなる可能性があるから、いなくてもしつかりと答弁できるように体制整えてもらいたい。それだけはくれぐれもよろしく願います。

（「休憩……」の声あり）

○委員長（山田 誠君） 暫時休憩します。

休憩 午後 0時16分

再開 午後 0時18分

○委員長（山田 誠君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

◎閉会の宣告

○委員長（山田 誠君） 本日の議題の審議は終了いたしましたので、本日の委員会はこれで閉会いたします。

閉会 午後 0時18分